

親世代からの価値観の継承性をみることが出来る。

- ・しかし、男性が次の世代に大切にしたいと思う内容には、親世代の価値観とは異なるものもある。それは得点の差として表れており、「生活は楽しく」・「子どもとの暮らし」・「配偶者との関係を」を大切にしたいということである。「生活は楽しむ」という価値観は最高得点であり、親世代とは特に異なる価値観であることが認められた。また、他者との接し方や対人関係のあり方に関する得点も高く、他には「視野の広い考え」・「理想をもつ」・「ユーモアがある」・「様々なことに挑戦する」・「物事に対してイメージを豊かにしてみる」という価値観の得点も父親や母親の得点より高い。

2) 女性対象者の価値観について

① 女性の父親が大切にしていた価値観

- ・女性が自分自身の父親に<当てはまる>とした平均得点1.0以上の項目は5項目である。それは、「不正などを許さない 1.41」・「親を大切にする 1.25」・「自立する 1.21」・「責任を持つ 1.19」・「子どもを慈しむ 1.13」である。
- ・<当てはまらない>とした項目は、「信仰心 -0.37」「成り行きにまかせる -0.17」の2項目である。
- ・対象男女の父親の価値観はほぼ同傾向を示し、相関係数0.990である。

② 女性の母親が大切にしていた価値観

- ・女性が自分自身の母親に<当てはまる>とした平均得点1.0以上は12項目である。「親を大切にする 1.47」・「不正などを許さない1.46」・「子どもを慈しむ 1.42」・「人の弱さや痛みを気づかう 1.27」・「言動に責任を持つ 1.24」・

「子どもとの暮らしを大切にする 1.23」・「家族の支え合い・協力 1.23」・「忍耐強い 1.22」・「人の気持ちが分かる 1.14」・「生活は楽しく 1.12」・「人との調和を重んじる 1.12」・「自立 1.12」である。

- ・<当てはまらない>とした項目は、「論理的思考 -0.09」・「成り行きにまかせる -0.07」・「信仰心 -0.07」の3項目である。
- ・男性と女性の母親の価値観はほぼ同傾向を示し、相関係数0.988である。
- ・女性は男性に比べ多くの項目で平均得点が高く、女性は母親の価値観を肯定的に受けとめていると考えられる。しかし、母親が「配偶者との関係を大事にする」ということに関しては、女性の平均得点0.9であり男性の得点1.01よりも低く、女性は同性である母親の価値観などに関して厳しい見方をしている。

④ 女性が次の世代に大切にしたいと思う価値観

- ・女性が次の世代に大切にしたいと思う項目で、<当てはまる>とした平均得点1.0以上は28項目である。<よく当てはまる>という得点と考えられる平均得点1.5以上は14項目である。「生活は楽しく 1.70」・「人の弱さや痛みを気づかうことができる 1.71」・「子どもを慈しむ 1.70」・「言動に責任を持つ 1.67」・「人の気持ちが分かる 1.66」・「家族の支え合い・協力 1.65」・「配偶者との関係を大事にする 1.61」・「夢を持つ 1.59」・「親を大切にする 1.59」・「不正などを許さない 1.59」・「自立 1.56」・「子どもとの暮らしを大切に 1.55」・「性別で差別をしない 1.53」・「視野の広い 1.51」である。多くの項目で得点が高い。

- ・<当てはまらない>とした項目は、「成り行きにまかせる -0.17」・「信仰心 -0.16」の2項目である。
- ・女性が次の世代に大切にしたいと思っていることの最高得点の項目は、男性と同じ項目であり、「生活は楽しく」という価値観である。
- ・対象者の男女が、次の世代に大切にしたいと思う価値観は同傾向を示し、男女間の価値観の相関係数は0.984である。
- ・しかし、女性が次の世代に大切にしたいと思う内容と男性の価値観とは異なるものがある。それは、「人への気づきがあること、そして、性別で差別をしないことである。また子どもとの暮らしや、夫婦関係を大切に、家族の協力を大切にすることである。
- ・女性が次の世代に大切にしたいと思っていることには、父親や母親が大切にしていたと思われる考え方を含んでおり相関が高い。女性の価値観と父親の価値観の相関係数は0.754、同様に女性の価値観と母親の相関係数は0.799である。女性においても親世代からの価値観の継承があることが認められた。
- ・しかし、女性が次の世代に大切にしたいと思う内容には、親世代の価値観とは異なるものがある。それは、「生活は楽しく」・「子どもとの暮らし」・「人への気遣いがある」・「性差別がないこと」である。他には、「物事に対してイメージを豊かにしてみる」・「様々なことに挑戦する」・「夢を持つ」・「ユーモアがある」・「理想を持って生きていく」の平均得点が、父親・母親の平均得点よりも高い。また、特に父親の平均得点と差があったのは、「生活は楽しく」・「人の気持ちが分かる」・「性別で人を差別しない」・「人の弱さや痛みを気づ

かう」という項目である。

4) 生き方に関する考え方と価値観について

親世代が大切にしていた価値観；父親や母親が大切にしていたと思われる考え方や価値観は、「規範性と責任感があり、自立して生きること。そして親を大切に子どもを慈しむ」といえる。そして、対象者の父親と母親が大切にしていたと思われる価値観の相関が高いことから、親世代の価値観はほぼ同じである。価値観の相関は、男性の父母間の相関係数は0.913、女性の父母間では0.915である。また、男女の父親間の相関係数は0.990で、男女の母親間は0.988である。

- ・父親と母親の考え方の相違；父親と母親の考え方で異なることは、母親の方が「子どもとの暮らしを大切に、家族の支え合い・協力を大切にしていた」ことである。また、「人の弱さが気づかえる」ことである。母親の方が家族や周囲の人へ関わりを大切にしていたことを対象者は感じている。
- ・親世代の価値観の継承について；対象者が次の世代に大切にしたいと思っていることは、男女共ほぼ同じである。また、男女共に父親と母親が大切にしていたと思われる価値観を次の世代に継承しようとしていることが明らかになった。次の世代に継承されようとしている価値観は、「自分の子どもを慈しみ、親を大切にすること。そして規範性と責任感を持った自立的な生き方を大切にしていく」ことである。次の世代を育てる価値観は、父親から男児へ、母親から女児へという継承の流れが相関係数より考えられる。
- ・対象者と親世代の考え方の相違；対象者と親世代の考え方で特に異なることは、「家族との暮らしを大切にすること。そして夢と理想をもって生きること。人の

気持ちがわかり、人間関係を大切にし、何よりも生活は楽しく」ということである。また、「視野の広い考えとメーヅ力をもって物事を対処し、様々なことに挑戦していく姿勢あること。そして、ユーモアがあり、他者への配慮性があり、性別で差別がない」ということもある。

- ・大切にされていない価値観；父親や母親の価値観でも、また対象者が次の世代にのぞむ価値観において共通して得点が低かったのは、「信仰心」と「成り行きに任せた生き方」の項目である。日本人の信仰心あるいは宗教に対する関心の薄さなど、心のよりどころと子育てに関することについては今後の検討課題である。また、「無駄な考えや行動をしない」あるいは「論理的思考が大切」という項目の得点も高くはなく、日本人には合理性とか論理的という考え方や態度が馴染みにくいところがあるのではないかと推察されるが、これも教育との関連で今後の検討課題である。

5) 特性別の検討

育ったきた家庭に不満を持つ群、そして子育て負担感のある群の価値観について価値観について検討をした。

① 育ってきた家庭に不満を思っている群

育ってきた家庭に対して「やや不満がある」あるいは「不満がある」ものを不満群とし、対象全体と比較検討した。

[父親が大切にしていた価値観]

- ・不満群では、父親に<当てはまる>とした平均得点1.0以上の項目は少ない。男性では皆無で女性では「不正などを許さない」の1項目であり平均得点が低い傾向がある。親の存在が希薄であったのではないかと考えられる。
- ・男性の不満群と対象全体の男性を比較す

ると、男性不満群では平均得点がマイナスである項目が8項目と多い。家族観に関する項目では、「家族の支え合い・協力 -0.08」・「配偶者との関係を大切 -0.08」・「子どもとの暮らしを大切 -0.05」、考え方や態度では「視野の広い -0.12」・「論理的思考が大切 -0.12」・「挑戦する -0.06」・「イメージを豊かに -0.22」・「信仰心 -0.12」である。対象全体ではマイナスだった「成り行きに任せる」は、不満群では0.12でプラスである。他には、「子どもを慈しむ 0.25」・「親を大切に 0.58」・「人の気持ちが分かる 0.09」・「不正などを許さない 0.99」・「責任を持つ 0.52」の項目の平均得点が、対象全体の男性と比べ低い。

- ・女性不満群も男性不満群と同傾向を示している。家族観に関する項目では、「配偶者との関係を大切 -0.28」・「家族の支え合い・協力 -0.13」・「子どもの暮らしを大切 -0.12」、考え方や態度では「イメージ豊か -0.37」・「ゆったりと構える -0.17」・「挑戦する -0.15」・「論理的思考が大切 -0.06」・「無駄な考えをしない -0.04」・「信仰心 -0.57」である。「成り行きに任せる 0.0」である。他には、「親を大切に 0.62」・「子どもを慈しむ 0.28」・「人の気持ちが分かる 0.0」・「生活は楽しく 0.21」・「問題から逃げない誠実に対応 0.12」・「自分の限界を知る 0.02」の項目の平均得点が、対象全体の女性と比べ低い。
- ・不満群の父親は、「家族や暮らしを大切にしておらず、子どもを慈しむこともあまりなく、人の気持ちがわかりにくい。そして、規範性や責任感があまりなく論理的思考や視野の広さがない。様々なことに挑戦しているとは思えず、多少成り

行き任せのところがある。また自分の親を大切にするという態度が見受けられにくい」という傾向がある。

[母親が大切にしていた価値観]

- ・不満群では、母親に<当てはまる>とした平均得点1.0以上の項目は少ない。男性では「不正などを許さない」の1項目で、女性では「不正などを許さない」・「親を大切に」の2項目である。平均得点は低い傾向がある。父親の結果と同傾向を示しており、親の存在が希薄であったのではないかと推察される。
- ・男性不満群と対象全体を比較すると、男性不満群の平均得点がマイナスである項目が5項目と多く、「視野の広い -0.11」・「無駄な考えをしない -0.04」・「論理的思考が大切 -0.34」・「挑戦する -0.09」・「イメージを豊かに -0.13」である。また、「成り行きに任せる」は0.17であり、対象全体でマイナスだったが不満群ではプラスである。他には、「配偶者を大切に 0.29」・「家族の支え合い 0.46」の項目の平均得点が対象全体と比べ低い。対象全体に比べやや得点の高かった項目は、「仕事は生活のため 0.85」である。
- ・女性不満群も男性不満群と同傾向を示している。平均得点がマイナスの項目は「論理的思考が大切 -0.29」・「イメージを豊かに -0.06」・「視野の広い -0.04」・「信仰心を大切に -0.04」である。「成り行きに任せる」は0.0である。家族観に関する項目では、「配偶者との関係を大切に 0.1」・「家族の支え合い・協力 0.57」・「子どもの暮らしを大切に 0.66」・「子どもを慈しむ 0.89」である。他には、「親を大切に 1.07」・「人の気持ちが分かる 0.64」・「生活は楽しく 0.52」・「責任を持つ0.76」の項目の平

均得点が、対象全体と比べ低い。対象全体に比べ得点の高かった項目は「仕事は生活のため 0.98」である。

- ・不満群の父親と母親の価値観はほぼ同じであった。だが、母親の方が家族との生活を大切にしている傾向が認められた。男女共に父親と母親の価値観の相関は高く、相関係数は男性の父母間で0.769、女性の父母間では0.780である。
- ・不満群の母親は、「規範性や責任感があまりなく、論理的思考や視野の広さが無い。様々なことに挑戦しているとは思えず多少成り行き任せで、仕事は生活のためと思っているところがある。家族や暮らしを大切にしているが十分とはいえず、子どもを慈しむこともあまり十分ではない」傾向がある。
- ・育ってきた家庭について不満を持っている対象者の親は、夫婦関係や家族の支え合いや協力を大切にすることがなく、子どもを慈しんだり親を大切にすることが十分ではなかったといえる。また、親は社会性を大切にしていなかったといえる。

[次の世代に大切にしたい価値観]

- ・男女共に不満群の結果は、対象全体とほぼ同じである。しかし、平均得点は全体的にやや低い。男性が次の世代に継承したいと思っている項目で平均得点1.5以上の項目は、「生活が楽しく 1.66」・「言動に責任をもつ 1.53」・「子どもを慈しむ 1.51」である。
- ・女性は「生活が楽しく 1.72」・「人を気づかう 1.66」・「子どもを慈しむ 1.63」・「人の気持ちが分かる 1.62」・「言動に責任を持つ 1.60」・「夢を持つ 1.58」・「家族の支え合い 1.57」・「自立する 1.53」・「配偶者との関係大切に 1.52」・「不正などを許さない 1.52」の10項目である。

- ・次の世代に大切にしたい価値観は、自分の親にはみられなかった「社会性や家庭を大切にする」ということである。しかし、対象者には親と異なる価値観があることが相関に示されており、父親の価値観と対象者の価値観の相関係数は、男性の場合は0.193、女性の場合は0.161である。同様に母親の価値観とも相関が低く、相関係数は男性の場合は0.358、女性の場合は0.426である。
- ・対象者が親を肯定しよい家庭だったと思える場合は、子育てに関する親の考え方や態度を継承していく傾向がある。だが、育った家庭に「不満がある」場合には、父親の価値観の世代間継承は認められず、母親との世代間継承は弱い。このように、育った家庭に不満を持っている場合には、次の世代には自分の親にはなかった考え方や価値観を伝えたいと思っていることが明らかになった。
- ・育った家庭に不満だった人の親の生き方には、家庭生活や家族を大切にしないところがあるので、対象者が親のような家庭を築きたくない思いがあることは十分に理解できる。

④ 子育て負担感のある群

男女共に子育て負担感のある群の親と対象全体の親の価値観はかなり同質性があるが、異なることも認められた。また、平均得点が対象全体と比べやや低い傾向がある。

[父親が大切にしていた価値観]

- ・男性では平均得点が1.0以上の<当てはまる>というのは3項目で、「不正などを許さない 1.21」・「自立する 1.07」・「親を大切にする 1.01」である。対象全体との相違は、「論理的思考 -0.06」あるいは「成り行きにまかせる 0.13」である。
 - ・女性の結果も男性の結果と同傾向を示し、平均得点が1.0以上の<当てはまる>というのは3項目で、「不正などを許さない 1.24」・「自立する 1.05」・「言動に責任を持つ 1.02」である。対象全体との相違は「論理的思考 -0.04」や「仕事は生活のためにする 1.0」ということである。
 - ・対象者の父親は、「社会性を大切にしていたが、子どもとの暮らしや家庭生活に対する肯定的な考え方はなかった」といえる。また、父親は「論理的思考を大切にしている」という態度も認められなかった。
- [母親が大切にしていた価値観]
- ・男性では平均得点が1.0以上の<当てはまる>というのは3項目で、「不正などを許さない 1.27」・「親を大切にする 1.07」・「子どもを慈しむ 1.03」である。対象全体との違いは、「イメージ豊かに -0.13」・「信仰心 -0.09」・「成り行きに任せる 0.11」・「仕事は生活のためにする 0.87」である。
 - ・女性は平均得点が1.0以上の<当てはまる>というのは6項目で、「不正などを許さない 1.27」・「子どもを慈しむ 1.15」・「忍耐強い 1.15」・「親を大切にする 1.11」・「人を気づかう 1.08」・「言動に責任を持つ 1.04」である。対象全体との相違は、「成り行きに任せる 0.12」・「信仰心 0.14」・「論理的思考 -0.38」・「仕事は生活のためにする 0.92」である。また、「イメージの豊かさ 0.05」の得点も低い。
 - ・対象者の母親には「社会性や親を大切に子どもを慈しんでいる」ことなどの価値観があったと理解できる。しかし、「家族関係や家庭生活に対する肯定的な考え方や価値観」があったことは認められに

くい。また、母親が「成り行き任せの傾向やイメージが豊かではない」ことも示された。母親には「仕事は生活のためにする」といった考え方もある。

- ・「生活は楽しく」といった価値観の得点が対象全体の得点よりも低く、これは母親の「夢」や「ユーモア」の得点が低いことから生活を楽しむ価値観がないのか、あるいは何らかの環境要因によって、生活を楽しむゆとりがなかったのではないだろうかと考えられる。
- ・男女共に父親と母親の価値観の相関が高く、男性の父母間では相関係数0.863、女性の父母間では0.797である。

[次の世代に大切にしたい価値観]

- ・子育て負担感のある群が、次の世代に大切にしたい価値観は、男女ともに対象全体とほぼ同じである。だが、平均得点は全体的に低い傾向がある。
- ・対象全体との違いは、「成り行きに任せる」が男性0.14・女性0.1であり、プラスの得点である。次いで「仕事は生活のためにする」が男性0.83・女性0.66という得点がやや高いことである。「生活は楽しむ」とか「夢を持つ」、あるいは「ユーモアがある」などの得点は対象全体と比べ低い傾向がある。
- ・父親と対象者の次の世代にのぞむ価値観の相関は、男性の相関係数が0.623で、女性の相関係数は0.501である。同様に、母親と対象者の価値観の相関は、男性の相関係数が0.538で、女性の相関係数は0.597である。子育てに関する考え方や価値観は、同性を通して世代間で継承されているといえる。しかし、対象全体の相関と比較すると、子育て不満群における相関はやや低い。
- ・子育て負担感のある群の次の世代に関する考え方には、「成り行きに任せたり、

仕事は生活のため」という傾向がある。そして、「夢をもちユーモアがあり、生活は楽しむ」という価値観は肯定的には捉えられていない。このような、やや消極的な生き方や価値観は対象者の親世代でも認められており、次世代にも継承されていく可能性があることが認められた。

3-4 小括

第一に、乳幼児を持つ対象者の経済的・心理的自立について、対象者の親からの経済的援助などの状況と心理的関係より検討した。親からの経済的援助は約30%である。前年度に我々が行った少子化研究では、既婚者の約28%が親から経済的援助を受けており、子育て中の養育者世代では、親から経済的援助を約1/3の人が受けているといえよう。

しかし、日常生活上の世話を親から約1/2の対象者が援助してもらっている。これは、経済的援助の割合よりも多く、仕事を持つ対象者のかなりの人が、子育てと仕事を両立していくには親の援助を受けざるを得ない状況がある。

対象者とその親との心理的関係であるが、母親が成人した子どもに心理的に依存し子離れが出来ていない割合が高い。母と娘（成人した女性）が親離れ・子離れ出来ず心理的に依存している場合には、このような女性は親として子どもの状態を適切に把握することが難しいこともある。

成人が経済的にも心理的にも生活においても自立し、親の援助などをあてにしないで、家庭と仕事の両立をできるような社会の仕組みが整うことが、健全なあり方である。

第二に、育ってきた環境を検討した。一人暮らしの経験のある人は、経済的にも心理的にも親から自立している傾向がある。

一人暮らしの経験のある人や、父親が長期に不在だった人の親の考え方や価値観につい

て、また、子育てに関することについては、今後さらに研究をすすめる必要のある課題である。

対象者の大半は育ってきた家庭に満足しているとはいえ、女性では約1/4が不満に思っているということの方を重視すべきであろう。

不満に思っている女性の場合は、親として子どもを可愛いと思っではいるが、時には煩わしく思い子どもを受容できないこともあり、子どもに対して両価的な気持ちを持っている。また、子育て負担感のある群では、育ってきた家庭に不満な人の割合が多い傾向がある。

育ってきた家庭環境の影響が、現在の子育てに何らかの影響があると考えられるので、子育て支援における相談などでは対象者の理解を十分にしなければならない。

第三には、生き方における考え方と価値観について、対象全体・育った家庭に不満のある群・子育て負担感のある群について検討をした。

[対象全体]；対象全体の父親が大切にしていた価値観と、母親のそれとの間の相関は高く、親世代の価値観はほぼ同じであるといえる。対象者の親の価値観は、「規範性と自分の言動に責任をもつこと、そして経済的・精神的・生活面においても自立して生きること。また、家庭にあっては、親を大切に子どもを慈しむ」といえる。しかし、対象者の母親と父親の価値観の違いに注目すると、母親の方が「家族や周りの人々に対する関わり」を大切にしていることがあげられる。

対象者が次の世代に大切にしたいと思う価値観は、親世代の価値観である「社会性や自立性そして親や子ども大切にする」ことを継承していることが明らかになった。また、親の考えとは異なることは、「夫婦や子どもとの暮らしを大切にすること。夢と理想を持ち、視野の広さとイメージ力をもって物事に挑戦的に関わること。ユーモアがあり共感性

と思いやりのある態度で人と接し、性差別観のない人。そして、何よりも生活は楽しむこと」である。

最後にあげた「生活は楽しく」ということは、特に親との違いが大きい。バブル経済が崩壊し、経済成長路線の生き方が反省されている今日、「家族との暮らし」を大切に「生活は楽しく」という価値観があることは興味深い。

[育ってきた家庭に不満を持っている群]；不満満の父親や母親の生き方には、「社会性の低さがあり、また生き方が消極的で何よりも家庭生活を大切にしていない」傾向がある。対象者が次の世代に大切にしたいと思っしていることは、不満群の親にはみられなかった「社会性や家庭を大切にする」ことである。

不満群では価値観の相関が低く、世代間継承は認められなかった。不満群では、育ってきた家庭をどちらかという反面教師とし、対象者自身が新たな価値観をもって家庭あるいは子育てをしていこうという思いがあることがわかった。不満群の女性では、我が子に対して両価的な感情をもっていることもあり、対象者自身が適切な関わりを受けたり受容された体験が少ないので、我が子を十分に受けとめられないことがあると考えられる。

親の価値観やコミュニケーションの仕方など、家庭生活における習慣や行動に関することも次世代へ継承されていくことが示唆された。

[子育て負担感のある群]；負担感群の男女の父親や母親の生き方は、「社会性は高いが、論理的思考がなく、成り行き任せである。また、家族や暮らしを大切にしていない」傾向がある。また、負担感群の女性の母親には、「生活は楽しく」という価値観があまりなく、母親は何らかの要因によって生活を楽しむゆとりなかったのではないかと考えられる。

負担感群が次世代に大切にしたいと思

う価値観は、対象全体の価値観とほぼ同じである。しかし、対象全体と異なることは、「仕事は生活のためにし、物事を成り行きに任せる」傾向があることである。負担感群では、どちらかという消極的な生き方や価値観があり、これは負担感群の親にも認められている。負担感群では、親と対象者の価値観とには相関があり、消極的な生き方も世代間で継承されている。

負担感群についての子育てや生活のことについては前項で詳細に報告したが、我が子に対する関わり方の問題やあるいは子どもを持つこと事態に意義を感じていないなど、子どもに対してネガティブな感情を持っている。また、生活環境としては、子育てを援助してくれるネットワーク体制が弱かったり夫婦関係がよくないなど、現在の生活にも問題がある。

負担感群では、対象者の親の価値観や育て方の影響ばかりではなく、現在の生活上の諸問題や家族各々の性格など個人の問題なども、子どもとの生活に影響を与えていると考えられる。

今調査では、育ってきた家庭に不満を持っている人は対象全体では22%、また子育て負担感のある人は約4%である。アンケート調査という制限があるが、子育てにおいて大変な思いをしている養育者がかなりいること明らかになったが、不安や心配等を抱えていても問題などが顕在化していない養育者もかなりいるのではないかと推察される。

子どもの生活や子育てには、生活上の諸問題の影響ばかりではなく、養育者の親の価値観や子育てなどや生活のあり方など、すなわち家庭の中の文化や生活習慣の影響もあることがわかった。

母子保健あるいは子育て相談などの領域における子育て支援で、今後重要であると考えられる視点は次ぎのことである。

健診や相談などの第一次機関ではスクリーニングを主体とするばかりではなく、養育者の子育てと生活に関する様々な要望に支援できること、また潜在的な問題に対してもプライバシーを侵害することなく支援できるような体制が整備されることが重要である。

すなわち、これからの子育て支援に関する事業は支援サービスというメニューの提供ばかりではなく、専門性を持って対象の理解につとめ、支援が行われることである。それには、子どもや親に専門的サービスをするスタッフの再教育などの検討も必要なのではないだろうか。

少子化の時代だからこそ必要なサービスがあり、また、少子化だからこそ今まで十分にサービス出来なかったことに関して、専門性を持つサービスが出来るのではないだろうか。支援に関する具体的な提言については、前項を参照されたい。(千賀悠子)

IV 結語

現代の日本においては共働きが多いこともあって、子育てにおける経済的あるいは日常生活上の援助など物理的な問題を、親世代の援助で補われている部分が少なからずあることが明らかになった。また、若い親の経済的・精神的・生活面における自立という観点からこの援助関係をみると、この親子関係には「甘え」と「依存」を核とした未成熟な関係があるといえる。

子育てと仕事を両立させていくには、経済面ばかりではなく生活全体にゆとりのある環境が整わない限り相当のストレスを受ける。よって、親子の「甘え」あるいは「依存」を昇華し、親子が成熟した関係になるような社会の基盤整備が肝要であり、親子間の依存関係に頼ることのない育児支援策の整備が必要である。

今日、少子の問題は経済や保育の政策課題として取り組まれ、子育て支援に関しては多種多様なメニューが提供されている。今調査の結果より、これからの子育て支援で重要であると考えられる3つの視点が得られたので、提言する

第一には、子育て支援の対象は、子育てをしている家族とその子ども全員である。支援のニーズの有無で、あるいは支援施策の基準にあっているかどうかという線引きで、支援の対象は限定できないということである。

核家族化そして長寿化社会にある現代においては、地縁血縁というネットワークが脆弱化しており、子育てで迷ったり戸惑ったり前に進めなくなる場合に励ましてくれたり支えてくれる眼差しや手が少ないのである。ほんの少し高いステップが登れない場合が多々ある。子育てをしていること自体が、養育者のライフステージにおいて心理的にも経済的にも危機であるといえるからである。

第二は、専門家の教育を含めてシステムの再構築である。それは、健診や相談の第一次機関である場で、高度の専門性を持って対象の理解をし、かつ必要な援助が出来るシステムをつくることである。また、母子保健、福祉、あるいは保育・教育・心理などの専門領域とのさらなる連携であり、即戦力となるネットワークを立ち上げることである。そして、子育て支援に携わる専門家の教育・研修内容などの検討が必要である。

第三には、子育て支援における専門性についての検討である。その専門性の中でも今後特に大切なことは、対象理解、援助の方法、そしてケースマネジメントであると考えられる。今調査の結果より得られた知見より、対象理解のためのポイントについて述べる。

[ポイント 1] ; 家族全体を総合的に捉えて問題を把握していくことである。また、専門領域のネットワークなどを活用して対象

を理解し、最善のサービスを提供できるようにすることである。

[ポイント 2] ; 家庭の生活習慣である文化的慣習的行動、すなわち「生活と文化の習慣と行動」に視点をあてることである。

家庭の機能をみるとときには、今まではどちらかという生活管理や教育的機能に焦点が当てられてきた。親の子育ての考え方や価値観は、家庭生活のあり方や文化的習慣や行動に反映されるものである。そして、この「生活と文化の習慣と行動」は世代間で継承されていくので、この家庭のあり方を理解することは、対象理解の重要な視点である。

視点をあてかたは、一つには、子どもに焦点を当てながら家族内の人間関係やコミュニケーションの仕方、問題解決のプロセスのあり方、趣味やスポーツの楽しみ方などについて情報を収集し検討をすることである。次には、家族のネットワークの規模と質について検討をする。家族以外の人々との関係がどの様に開かれているか、血縁や地縁ばかりではなく様々な人々の相互関係や援助関係などに関するものである。まさに、家庭のオープン性とネットワークに視点をあてることである。

少子化時代の子育て支援においては、個人領域に関する理解と支援という視点を持つことが大切であり、これが次世代育成につながる方向にあるといえるのではないだろうか。

謝 辞

調査にご協力いただいた全国の保護者各位と保育関係者各位に深謝申し上げます。また、調査票作成にあたって、本研究の研究協力者である日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部研究員各位に助言を得た。

(千賀悠子、齋藤幸子、宮原忍 大賀英史)

D. 結論

結婚・出産・育児に対する社会環境の影響について検討し、少子化の要因分析と少子対策の策定に向けての方策の確立を目的に、二つの方法による研究を行った。

(1) 昨年度の全国規模で実施した既婚未婚の男女に対するアンケート調査のうち、回答者の自由記載の内容を分析し、それをもとに、保健行政学、母子保健学、児童福祉学、教育学、心理学、健康教育学、育児学の各分野の専門家によって、専門的検討を行った。新たな社会環境の変化を捉えた「家庭の自立」「住民参加」支援を促す発想による政策の充実が必要とされるとともに、対象に正しい知識や適切な情報の提供等のサービスの充実も必要となる。また、アンケートの回答内容から見て、サービスについての知識が不足しているようであり、これらの公的なサービスの実施状況について、PR方法の工夫による住民に周知させる手立てが必要である。そのためには、多方面のメディアの活用も配慮されるべきであろう。さらに、発想を変えて、国からの補助金を自由に活用させるだけの度量も要求されている。一方、母親の立場からいえば、女性の社会参加を主眼とした子育て支援対策の確立が期待されており、特に専業主婦も含む子育て困難者の支援体制の確立、保育サービスの充実が急務といえる。地域内では、保育園職員、中高齢者の先輩母親による育児支援等の手近なところでの支援体制の確立の構想もあげられた。子育ての経済的負担に多くの意見が集まっていることから、教育費の負担の軽減も必要である。このことは今日の教育に対する不満につながると思われるので、その対策の確立が急がれる。

(2) 子育ての実態についてのアンケート調査によって、子育てに心配事感をもつものが約半数に達していることが把握できた。特に、子

育て負担感の強いものは、子どもの健康上に問題が認められたり、夫婦関係や祖父母を交えた家族関係が良くなく、さらに現在の家庭に不満をもつものが多いことが把握された。このことから、子どもの健康対策の支援、心配事の解決の支援対策をもっと充実させることが必要であり、さらに家族のことも気安く相談できる体制の確保も必要であろう。

少子の問題を経済や保育政策の問題などの物理的問題として、それに対する方策を立ててきたものを、今後は、個人の問題、家族の問題として考察される必要があるものと思われる。すなわち、今後の家族支援のあり方は、子どもに焦点を当てていながらも、その家族の世代間に継承される背景を考慮し、家族とそれを取り巻く環境を総括的に整える支援体制の確立が望まれ、それが次世代育成につながる方向にある方策といえるのではなかろうか。 (高野 陽)

E. 研究発表

学会発表

今年度および、今年度以降に開催される日本小児保健学会等での発表を予定している。

＜調査実施箇所リスト＞

区市町村数	区市町村名（数字は調査施設数、記載のない地域の調査施設は1か所）	調査施設数	公立	私立	調査票配布世帯数
東京 23 区内	江戸川区・荒川区・渋谷区・新宿区・杉並区・世田谷区・千代田区・大田区・中央区・中野区・板橋区 2・品川区・文京区・北区・墨田区 2・目黒区・練馬区	19	0	19	1,654
首都圏（23区をのぞく）	伊勢原市・小田原市・水戸市・相模原市 2・町田市 2・藤沢市 2・八王子市・武蔵村山市・福生市・平塚市	13	2	11	1,646
中核市および中都市	旭川市・岡山市 4・郡山市 3・山形市・新潟市 3・倉敷市・長崎市 2・函館市 3・姫路市 3・氷見市・浜松市 2・福井市 2	26	1	11	2,190
町村	沖縄県内・福岡県内・大分県内 6	8	1	7	443
計		66	4	62	5,933

＜男女別集計対象内訳＞

男性	3,734人	ペア回答の男性 3,586人 + 男性単独回答合計 148人
女性	4,353人	ペア回答の女性 3,586人 + 女性単独回答合計 767人
合計	8,087人	

＜世帯別回答パターン内訳＞

	ペア回答	男性単独回答	女性単独回答	合計
二人親世帯	3,586	101	235	3,922
一人親世帯（男性）		40		40
一人親世帯（女性）			521	521
不明		7	11	18
合計	3,586	148	767	4,501

＜世帯集計対象内訳＞

調査票は「父親用」「母親用」共通で同じ内容としたので、世帯に関する項目などが重複している。

（例：同居している人、現在の子ども数、子どもの年齢など）これらについては、父母の個人データでなく、世帯集計を実施し、世帯の代表として以下のサンプルを集計対象とした。

女性回答者全数	4,353
男性単独回答者	148
合計	4,501

＜世代観継承項目（設問 [6]）集計対象内訳＞

設問 [6] 全 117 項目回答（男性）	2,504
設問 [6] 全 117 項目回答（女性）	2,849
合計	5,353

C-2. 「子育てに関するアンケート調査」男女別集計表

[1] あなたご自身のことについてうかがいます

表1-1. 性別

	件数	割合
1. 男	3,734	46.2%
2. 女	4,353	53.8%
合計	8,087	100.0%

表1-2. 年齢

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 19歳以下	2	0.0%	1	0.0%	1	0.0%
2. 20～24歳	187	2.3%	61	1.6%	126	2.9%
3. 25～29歳	1,155	14.3%	389	10.4%	766	17.6%
4. 30～34歳	2,842	35.1%	1,106	29.6%	1,736	39.9%
5. 35～39歳	2,493	30.8%	1,223	32.8%	1,270	29.2%
6. 40歳以上	1,391	17.2%	947	25.4%	444	10.2%
無回答・不明	17	0.2%	7	0.2%	10	0.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表1-3. あなたには兄弟姉妹がいますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いる	7,559	93.5%	3,497	93.7%	4,062	93.3%
2. いない	506	6.3%	227	6.1%	279	6.4%
無回答・不明	22	0.3%	10	0.3%	12	0.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表1-4. 現在の居住地(地域)にどれくらいの期間住んでいますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 2年未満	1,026	12.7%	437	11.7%	589	13.5%
2. 2～4年	2,137	26.4%	945	25.3%	1,192	27.4%
3. 5～9年	2,372	29.3%	989	26.5%	1,383	31.8%
4. 10～14年	878	10.9%	373	10.0%	505	11.6%
5. 15～19年	248	3.1%	123	3.3%	125	2.9%
6. 20年以上	1,396	17.3%	852	22.8%	544	12.5%
無回答・不明	30	0.4%	15	0.4%	15	0.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表1-5. あなたが最後に学んだ(または現在学んでいる)学校は次のどれですか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 中学	276	3.4%	160	4.3%	116	2.7%
2. 高校	3,145	38.9%	1,402	37.6%	1,743	40.0%
3. 専門・専修学校	1,339	16.6%	476	12.8%	863	19.8%
4. 短大・高専	935	11.6%	122	3.3%	813	18.7%
5. 大学	2,127	26.3%	1,395	37.4%	732	16.8%
6. 大学院	205	2.5%	152	4.1%	53	1.2%
7. その他	33	0.4%	17	0.5%	16	0.4%
無回答・不明	27	0.3%	10	0.3%	17	0.4%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表1-6. あなたは現在、結婚していますか。あるいはこれまでに結婚したことがありますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 結婚している(配偶者またはパートナーがいる)	7,508	92.8%	3,687	98.7%	3,821	87.8%
2. 結婚していたが、離別した	462	5.7%	32	0.9%	430	9.9%
3. 結婚していたが、死別した	31	0.4%	5	0.1%	26	0.6%
4. 未婚	68	0.8%	3	0.1%	65	1.5%
無回答・不明	18	0.2%	7	0.2%	11	0.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表1-7. あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 配偶者(パートナー)と子ども	5,728	70.8%	2,820	75.5%	2,908	66.8%
2. 親・配偶者(パートナー)と子ども	1,659	20.5%	814	21.8%	845	19.4%
3. 子どもと	422	5.2%	18	0.5%	404	9.3%
4. その他	256	3.2%	72	1.9%	184	4.2%
無回答・不明	22	0.3%	10	0.3%	12	0.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表1-8. あなたのご職業などは、次のどれに当たりますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 勤め人(常勤)	4,950	61.2%	3,004	80.5%	1,946	44.7%
2. 勤め人(非常勤・パートタイム)	1,390	17.2%	38	1.0%	1,352	31.1%
3. 自営業(農林漁業の自営を含む)	816	10.1%	466	12.5%	350	8.0%
4. 会社経営	184	2.3%	146	3.9%	38	0.9%
5. 学生(就学中)	34	0.4%	13	0.4%	21	0.5%
6. 無職	518	6.4%	17	0.5%	501	11.5%
7. その他	152	1.9%	33	0.9%	119	2.7%
8. 重複	21	0.3%	8	0.2%	13	0.3%
無回答・不明	22	0.3%	9	0.2%	13	0.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

[2]お子さんとの生活についていかがいます。

表2-1. お子さんは何人いますか

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 1人	2,696	33.3%	1,168	31.3%	1,528	35.1%
2. 2人	3,732	46.2%	1,775	47.5%	1,957	45.0%
3. 3人	1,414	17.5%	676	18.1%	738	17.0%
4. 4人	183	2.3%	81	2.2%	102	2.3%
5. 5人	29	0.4%	14	0.4%	15	0.3%
6. 6人	4	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
7. 7人	4	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
無回答・不明	25	0.3%	16	0.4%	9	0.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-2. お子さん(達)の年齢は、次の項目のどれに当てはまりますか。(複数回答)

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 2歳未満	2,034	25.2%	978	26.2%	1,056	24.3%
2. 2歳～4歳未満	3,568	44.1%	1,660	44.5%	1,908	43.8%
3. 4歳～就学前	5,011	62.0%	2,289	61.3%	2,722	62.5%
4. 小学生	2,631	32.5%	1,241	33.2%	1,390	31.9%
5. 中学生	337	4.2%	157	4.2%	180	4.1%
6. 高校	126	1.6%	60	1.6%	66	1.5%
7. その他	79	1.0%	34	0.9%	45	1.0%
MA回答数合計	13,786	170.5%	6,419	171.9%	7,367	169.2%
無回答・不明	34	0.4%	21	0.6%	13	0.3%
MA回答者数合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-3. お子さん(達)の健康状態はいかがですか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 健康	7,269	89.9%	3,397	91.0%	3,872	89.0%
2. 病気がち	484	6.0%	210	5.6%	274	6.3%
3. 長期間にわたる医療や支援が必要	261	3.2%	95	2.5%	166	3.8%
無回答・不明	73	0.9%	32	0.9%	41	0.9%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-4. お子さん(達)のことで心配ごとがありますか。

2-4-1. からだのこと

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 心配なことがある	815	10.1%	364	9.8%	451	10.4%
2. 心配なことが少しある	2,796	34.6%	1,150	30.8%	1,646	37.8%
3. 心配なことはない	4,254	52.6%	2,100	56.2%	2,154	49.5%
無回答・不明	222	2.8%	120	3.2%	102	2.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-4-2. ころや行動のこと

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 心配なことがある	889	11.0%	332	8.9%	557	12.8%
2. 心配なことが少しある	3,187	39.4%	1,313	35.2%	1,874	43.1%
3. 心配なことはない	3,815	47.2%	1,981	53.1%	1,834	42.1%
無回答・不明	196	2.4%	108	2.9%	88	2.0%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-4-3. その他、生活上のこと

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 心配なことがある	817	10.1%	332	8.9%	485	11.1%
2. 心配なことが少しある	2,793	34.5%	1,146	30.7%	1,647	37.8%
3. 心配なことはない	4,192	51.8%	2,109	56.5%	2,083	47.9%
無回答・不明	285	3.5%	147	3.9%	138	3.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-5. あなたは日頃、お子さん(乳・幼児)にどのように関わっていますか。

2-5-1. 子どものやることは危なっかしいので、ついて手を出したり口を出す。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	740	9.2%	308	8.3%	432	9.9%
2. 時々そうする	5,244	64.8%	2,316	62.0%	2,928	67.3%
3. あまりそうしない	1,766	21.8%	879	23.5%	887	20.4%
4. しない	263	3.3%	182	4.9%	81	1.9%
無回答・不明	74	0.9%	49	1.3%	25	0.6%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-2. 子どもが何かできなくて困っている時は、励ましたりアドバイスする

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	3,212	39.7%	1,161	31.1%	2,051	47.1%
2. 時々そうする	4,388	54.3%	2,212	59.2%	2,176	50.0%
3. あまりそうしない	359	4.4%	269	7.2%	90	2.1%
4. しない	58	0.7%	46	1.2%	12	0.3%
無回答・不明	70	0.9%	46	1.2%	24	0.6%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-3. 親が決めた通りに行動するように、子どもに指示している

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	545	6.7%	279	7.5%	266	6.1%
2. 時々そうする	3,733	46.2%	1,573	42.1%	2,160	49.6%
3. あまりそうしない	2,856	35.3%	1,374	36.8%	1,482	34.1%
4. しない	864	10.7%	451	12.1%	413	9.5%
無回答・不明	89	1.1%	57	1.5%	32	0.7%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-4. 子どもの話すことに耳を傾け、よく聞くようにしている

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	4,395	54.4%	1,784	47.8%	2,611	60.0%
2. 時々そうする	3,149	38.9%	1,576	42.2%	1,573	36.1%
3. あまりそうしない	403	5.0%	277	7.4%	126	2.9%
4. しない	40	0.5%	36	1.0%	4	0.1%
無回答・不明	100	1.2%	61	1.6%	39	0.9%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-5. 抱きしめたり、かわいいといったり愛情表現をする

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	5,023	62.1%	1,852	49.6%	3,171	72.9%
2. 時々そうする	2,530	31.3%	1,489	39.9%	1,041	23.9%
3. あまりそうしない	402	5.0%	295	7.9%	107	2.5%
4. しない	61	0.8%	52	1.4%	9	0.2%
無回答・不明	71	0.9%	46	1.2%	25	0.6%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-6. 出来るだけ子どもと遊ぶようにしている

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	3,072	38.0%	1,422	38.1%	1,650	37.9%
2. 時々そうする	4,027	49.8%	1,822	48.8%	2,205	50.7%
3. あまりそうしない	854	10.6%	399	10.7%	455	10.5%
4. しない	57	0.7%	43	1.2%	14	0.3%
無回答・不明	77	1.0%	48	1.3%	29	0.7%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-7. 汚したり散らかしたりするような遊びは、させないようにしている

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	219	2.7%	131	3.5%	88	2.0%
2. 時々そうする	2,186	27.0%	900	24.1%	1,286	29.5%
3. あまりそうしない	3,582	44.3%	1,676	44.9%	1,906	43.8%
4. しない	2,005	24.8%	968	25.9%	1,037	23.8%
無回答・不明	95	1.2%	59	1.6%	36	0.8%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-5-8. 家の中は、子どもが自由に安心して遊べるようにしている

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそうする	4,662	57.7%	1,847	49.5%	2,815	64.7%
2. 時々そうする	2,476	30.6%	1,305	35.0%	1,171	26.9%
3. あまりそうしない	759	9.4%	454	12.2%	305	7.0%
4. しない	114	1.4%	81	2.2%	33	0.8%
無回答・不明	76	0.9%	47	1.3%	29	0.7%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-6. あなたは普段の生活で、お子さん(乳・幼児)と過ごしている時どのようなお気持ちですか。

2-6-1. 充実感がある

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	3,789	46.9%	1,884	50.5%	1,905	43.8%
2. 時々そう思う	3,692	45.7%	1,596	42.7%	2,096	48.2%
3. あまりそう思わない	478	5.9%	181	4.9%	297	6.8%
4. そう思わない	42	0.5%	23	0.6%	19	0.4%
無回答・不明	86	1.1%	50	1.3%	36	0.8%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-2. 楽しい

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	4,545	56.2%	2,227	59.6%	2,318	53.3%
2. 時々そう思う	3,275	40.5%	1,378	36.9%	1,897	43.6%
3. あまりそう思わない	187	2.3%	77	2.1%	110	2.5%
4. そう思わない	13	0.2%	8	0.2%	5	0.1%
無回答・不明	67	0.8%	44	1.2%	23	0.5%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-3. 面白いことや発見がある

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	4,545	56.2%	1,933	51.8%	2,612	60.0%
2. 時々そう思う	3,281	40.6%	1,623	43.5%	1,658	38.1%
3. あまりそう思わない	169	2.1%	119	3.2%	50	1.2%
4. そう思わない	18	0.2%	9	0.2%	9	0.2%
無回答・不明	74	0.9%	50	1.3%	24	0.6%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-4. 子どもが可愛い

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	6,683	82.6%	3,126	83.7%	3,557	81.7%
2. 時々そう思う	1,251	15.5%	529	14.2%	722	16.6%
3. あまりそう思わない	61	0.8%	28	0.8%	33	0.8%
4. そう思わない	16	0.2%	7	0.2%	9	0.2%
無回答・不明	76	0.9%	44	1.2%	32	0.7%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-5. つまらない

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	40	0.5%	18	0.5%	22	0.5%
2. 時々そう思う	812	10.0%	273	7.3%	539	12.4%
3. あまりそう思わない	1,986	24.6%	902	24.2%	1,084	24.9%
4. そう思わない	5,159	63.8%	2,484	66.5%	2,675	61.5%
無回答・不明	90	1.1%	57	1.5%	33	0.8%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-6. 大変で、どうしたらよいかわからない

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	122	1.5%	47	1.3%	75	1.7%
2. 時々そう思う	2,207	27.3%	813	21.8%	1,394	32.0%
3. あまりそう思わない	2,519	31.2%	1,185	31.7%	1,334	30.7%
4. そう思わない	3,151	39.0%	1,635	43.8%	1,516	34.8%
無回答・不明	88	1.1%	54	1.5%	34	0.8%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-7. わずらわしくて、イライラする

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	90	1.1%	33	0.9%	57	1.3%
2. 時々そう思う	3,144	38.9%	1,066	28.6%	2,078	47.7%
3. あまりそう思わない	2,463	30.5%	1,253	33.6%	1,210	27.8%
4. そう思わない	2,319	28.7%	1,341	35.9%	978	22.5%
無回答・不明	71	0.9%	41	1.1%	30	0.7%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-6-8. 子育ての犠牲になっている感じがする

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. いつもそう思う	76	0.9%	27	0.7%	49	1.1%
2. 時々そう思う	1,343	16.6%	419	11.2%	924	21.2%
3. あまりそう思わない	2,393	29.6%	1,090	29.2%	1,303	29.9%
4. そう思わない	4,210	52.1%	2,157	57.8%	2,053	47.2%
無回答・不明	65	0.8%	41	1.1%	24	0.6%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-SQ6-1. 犠牲についてどのように思いますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 犠牲感はあるが、苦にならない。	940	50.0%	353	55.0%	587	47.4%
2. しかたがないと思うので、がまんしている。	878	46.7%	275	42.8%	603	48.7%
3. 育児をすることはもう限界にきている。	13	0.7%	4	0.6%	9	0.7%
4. その他	49	2.6%	10	1.6%	39	3.2%
合計	1,880	100.0%	642	100.0%	1,238	100.0%

表2-SQ6-2. どのようなことが犠牲になっていると感じますか。(複数回答)

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 仕事や学業	871	46.3%	207	32.2%	664	53.6%
2. 趣味や娯楽	972	51.7%	355	55.3%	617	49.8%
3. 自由や気楽さ	1,221	64.9%	369	57.5%	852	68.8%
4. 配偶者(パートナー)との関係	293	15.6%	123	19.2%	170	13.7%
5. その他	70	3.7%	12	1.9%	58	4.7%
MA回答数合計	3,427	182.3%	1,066	166.0%	2,361	190.7%
無回答・不明						
MA回答者数合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-7. あなたは子育てをしてからの自分自身をどのように感じていますか。

2-7-1. 考えが柔軟になった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	4,058	50.2%	1,527	40.9%	2,531	58.1%
2. 以前からそうなので、変らない	2,255	27.9%	1,335	35.8%	920	21.1%
3. そう思わない	1,661	20.5%	813	21.8%	848	19.5%
無回答・不明	113	1.4%	59	1.6%	54	1.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-2. 他人の立場や気持ちがあくみ取れるようになった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	4,183	51.7%	1,501	40.2%	2,682	61.6%
2. 以前からそうなので、変らない	2,737	33.8%	1,566	41.9%	1,171	26.9%
3. そう思わない	1,056	13.1%	605	16.2%	451	10.4%
無回答・不明	111	1.4%	62	1.7%	49	1.1%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-3. 困難なことも運命的なこととして、受け止められるようになった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	3,736	46.2%	1,335	35.8%	2,401	55.2%
2. 以前からそうなので、変らない	2,420	29.9%	1,381	37.0%	1,039	23.9%
3. そう思わない	1,800	22.3%	943	25.3%	857	19.7%
無回答・不明	131	1.6%	75	2.0%	56	1.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-4. 自分はなくてはならない存在だと気づいた

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	5,588	69.1%	2,266	60.7%	3,322	76.3%
2. 以前からそうなので、変らない	1,292	16.0%	845	22.6%	447	10.3%
3. そう思わない	1,097	13.6%	556	14.9%	541	12.4%
無回答・不明	110	1.4%	67	1.8%	43	1.0%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-5. 物事に積極的になった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	2,249	27.8%	798	21.4%	1,451	33.3%
2. 以前からそうなので、変らない	2,779	34.4%	1,525	40.8%	1,254	28.8%
3. そう思わない	2,951	36.5%	1,344	36.0%	1,607	36.9%
無回答・不明	108	1.3%	67	1.8%	41	0.9%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-6. ささいなことが気にならなくなった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	2,579	31.9%	901	24.1%	1,678	38.6%
2. 以前からそうなので、変らない	2,618	32.4%	1,431	38.3%	1,187	27.3%
3. そう思わない	2,781	34.4%	1,335	35.8%	1,446	33.2%
無回答・不明	109	1.4%	67	1.8%	42	1.0%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-7. 感受性が豊かになった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	3,353	41.5%	1,251	33.5%	2,102	48.3%
2. 以前からそうなので、変わらない	2,707	33.5%	1,374	36.8%	1,333	30.6%
3. そう思わない	1,897	23.5%	1,032	27.6%	865	19.9%
無回答・不明	130	1.6%	77	2.1%	53	1.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-8. 思い通りにならないことがあるのに気づいた

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	4,065	50.3%	1,498	40.1%	2,567	59.0%
2. 以前からそうなので、変わらない	2,997	37.1%	1,564	41.9%	1,433	32.9%
3. そう思わない	926	11.5%	611	16.4%	315	7.2%
無回答・不明	99	1.2%	61	1.6%	38	0.9%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-9. 子育てに向いていないことに気づいた

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	1,037	12.8%	278	7.5%	759	17.4%
2. 以前からそうなので、変わらない	931	11.5%	441	11.8%	490	11.3%
3. そう思わない	5,989	74.1%	2,942	78.8%	3,047	70.0%
無回答・不明	130	1.6%	73	2.0%	57	1.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-7-10. 子どもが好きになった

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. そう思う	2,821	34.9%	1,258	33.7%	1,563	35.9%
2. 以前からそうなので、変わらない	4,182	51.7%	2,060	55.2%	2,122	48.8%
3. そう思わない	986	12.2%	353	9.5%	633	14.5%
無回答・不明	98	1.2%	63	1.7%	35	0.8%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-8. あなたがお子さんをもつ理由をうかがいます。

2-8-1. 子どもを生み育てることは、よい経験だと思うので

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	6,717	83.1%	2,838	76.0%	3,879	89.1%
2. いいえ	996	12.3%	703	18.8%	293	6.7%
無回答・不明	374	4.6%	193	5.2%	181	4.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-8-2. 子どもを生み育てることは、男としてまたは女としての、自分の存在が感じられるので

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	5,135	63.5%	2,309	61.8%	2,826	64.9%
2. いいえ	2,423	30.0%	1,201	32.2%	1,222	28.1%
無回答・不明	529	6.5%	224	6.0%	305	7.0%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-8-3. 子どもに継承したいもの(技能や伝統など)があるので

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	1,912	23.6%	1,077	28.8%	835	19.2%
2. いいえ	5,582	69.0%	2,416	64.7%	3,166	72.7%
無回答・不明	593	7.3%	241	6.5%	352	8.1%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-8-4. 子どもは楽しみやうるおいを与えてくれるので

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	7,065	87.4%	3,172	85.0%	3,893	89.4%
2. いいえ	665	8.2%	396	10.6%	269	6.2%
無回答・不明	357	4.4%	166	4.5%	191	4.4%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-8-5. 子どもは活気があるので

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	6,247	77.3%	2,841	76.1%	3,406	78.2%
2. いいえ	1,285	15.9%	657	17.6%	628	14.4%
無回答・不明	555	6.9%	236	6.3%	319	7.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-8-6. 子どもはほしくないが、大人として認められたかったので

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	116	1.4%	69	1.9%	47	1.1%
2. いいえ	7,359	91.0%	3,405	91.2%	3,954	90.8%
無回答・不明	612	7.6%	260	7.0%	352	8.1%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

2-8-7. その他

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
解答	419	5.2%	172	4.6%	247	5.7%
無回答・不明	7,668	94.8%	3,562	95.4%	4,106	94.3%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-9. あなたは、全部で何人のお子さんを生む予定ですか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 1人	878	10.9%	317	8.5%	561	12.9%
2. 2人	4,167	51.5%	1,916	51.3%	2,251	51.7%
3. 3人	2,083	25.8%	999	26.8%	1,084	24.9%
4. 4人	228	2.8%	104	2.8%	124	2.9%
5. 5人	48	0.6%	27	0.7%	21	0.5%
6. 6人	6	0.1%	4	0.1%	2	0.1%
7. 7人	4	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
8. 8人	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
9. 9人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10. 10人以上	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
無回答・不明	671	8.3%	363	9.7%	308	7.1%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表2-10. あなたは本当は、全部で何人のお子さんがほしいと思いますか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 本当はிரらない	174	2.2%	56	1.5%	118	2.7%
2. ()人ほしい	7,561	93.5%	3,482	93.3%	4,079	93.7%
無回答・不明	352	4.4%	196	5.3%	156	3.6%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

欲しい人数

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 1人	302	3.7%	114	3.1%	188	4.3%
2. 2人	2,781	34.4%	1,340	35.9%	1,441	33.1%
3. 3人	3,541	43.8%	1,603	42.9%	1,938	44.5%
4. 4人	558	6.9%	193	5.2%	365	8.4%
5. 5人	248	3.1%	152	4.1%	96	2.2%
6. 6人	13	0.2%	8	0.2%	5	0.1%
7. 7人	6	0.1%	5	0.1%	1	0.0%
8. 8人	4	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
9. 9人	6	0.1%	4	0.1%	2	0.1%
10. 10人以上	28	0.4%	26	0.7%	2	0.1%
無回答・不明	600	7.4%	287	7.7%	313	7.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

[3]日常生活についていかがいます。

表3-1. 日中、お子さん(乳・幼児)の世話を主にしている方はどなたですか。(複数回答)

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. あなた自身	2,363	29.2%	437	11.7%	1,926	44.3%
2. 配偶者(パートナー)	2,649	32.8%	2,167	58.0%	482	11.1%
3. 祖父母(自分またはパートナーの親)	1,435	17.7%	729	19.5%	706	16.2%
4. 1~3以外の家族や親族	134	1.7%	59	1.6%	75	1.7%
5. 保育者(保育園や家庭福祉員)	6,377	78.9%	2,681	71.8%	3,696	84.9%
6. 幼稚園の先生	613	7.6%	297	8.0%	316	7.3%
7. ベビーシッター	53	0.7%	23	0.6%	30	0.7%
8. 友人・知人	44	0.5%	16	0.4%	28	0.6%
9. その他	25	0.3%	7	0.2%	18	0.4%
MA回答数合計	13,693	169.3%	6,416	171.8%	7,277	167.2%
無回答・不明	173	2.1%	106	2.8%	67	1.5%
MA回答者数合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表3-2. あなたがお子さん(乳・幼児)の世話を一時的にできない時、どなたに世話を頼みますか。(複数回答)

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 配偶者(パートナー)	4,820	59.6%	2,334	62.5%	2,486	57.1%
2. 祖父母(自分または配偶者・パートナーの親)	5,959	73.7%	2,653	71.1%	3,306	76.0%
3. 1~2以外の家族や親族	989	12.2%	395	10.6%	594	13.7%
4. 保育園の一時的保育サービス	1,124	13.9%	510	13.7%	614	14.1%
5. 幼稚園の延長保育	439	5.4%	213	5.7%	226	5.2%
6. ベビーシッター	267	3.3%	108	2.9%	159	3.7%
7. 友人・知人	788	9.7%	215	5.8%	573	13.2%
8. その他	143	1.8%	40	1.1%	103	2.4%
9. 頼める人がいない	281	3.5%	96	2.6%	185	4.3%
MA回答数合計	14,810	183.1%	6,564	175.8%	8,246	189.4%
無回答・不明	188	2.3%	118	3.2%	70	1.6%
MA回答者数合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表3-3. あなたの家庭では、家事をしているのはどなたですか。

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. 主に自分がしている	3,464	42.8%	71	1.9%	3,393	78.0%
2. 夫婦で分担を決めてしている	1,099	13.6%	596	16.0%	503	11.6%
3. 主に配偶者(パートナー)がしている	2,829	35.0%	2,802	75.0%	27	0.6%
4. 主にその他の家族がしている	368	4.6%	118	3.2%	250	5.7%
5. その他	188	2.3%	62	1.7%	126	2.9%
無回答・不明	139	1.7%	85	2.3%	54	1.2%
合計	8,087	100.0%	3,734	100.0%	4,353	100.0%

表3-4. あなたと配偶者(パートナー)との関係や考え方についていかがいます。

3-4-1. 私達の子育てや教育に関する考え方はほぼ一致している

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	5,157	68.7%	2,496	67.7%	2,661	69.6%
2. いいえ	1,510	20.1%	741	20.1%	769	20.1%
無回答・不明	841	11.2%	450	12.2%	391	10.3%
合計	7,508	100.0%	3,687	100.0%	3,821	100.0%

3-4-2. 私達は家族にとって大切なことを話し合っている

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	5,386	71.7%	2,681	72.7%	2,705	70.8%
2. いいえ	1,323	17.6%	595	16.1%	728	19.0%
無回答・不明	799	10.7%	411	11.2%	388	10.2%
合計	7,508	100.0%	3,687	100.0%	3,821	100.0%

3-4-3. 私達はどちらかという協力し合ってる

	合計		男性		女性	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. はい	6,070	80.8%	3,025	82.0%	3,045	79.7%
2. いいえ	937	12.5%	401	10.9%	536	14.0%
無回答・不明	501	6.7%	261	7.1%	240	6.3%
合計	7,508	100.0%	3,687	100.0%	3,821	100.0%